平塚中等教育学校 PTA 通信　交通安全特別号

なみき道

交通安全特別号

令和５年３月吉日発行
交通安全グループ

アンケートへのご協力、ありがとうございました！！

昨年９月に、後期生生徒と全学年保護者を対象に、自転車利用と交通安全に関するアンケートを実施いたしました。

後期生生徒へは学校にて紙面で、保護者の皆さまへはオンラインでの回答をいただいた今回のアンケートですが、後期生生徒アンケートは 95%、保護者アンケートも６割近い回答率を得られたことにより、かなり実情に迫る調査にすることができました。

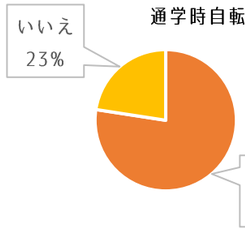
改めましてこの場にて、保護者の皆様のご協力に、心より感謝申し上げます。

そこで、この「交通安全特別号」では、アンケート結果と自転車安全点検（R4,9/15 実施）の結果から見えてきた、中等生の交通安全事情についてご報告いたします。

中等生は自転車利用者の割合が多い！

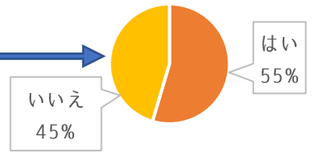
学校から駅までの距離が長いこともあり、自転車利用の生徒が８割近くに達しています。これは、他校に比べると、やや多い傾向にあります。なかでも、駅(平塚駅、伊勢原駅)から学校までの区間に自転車を利用している生徒が６割近くを占めることは、多くの生徒が、交通量が多く危険な箇所を通っていることを示しています。

通学時自転車利用者



自転車利用の内訳は…

駅⇔学校区間で自転車利用



親子間に安全意識の差あり？！

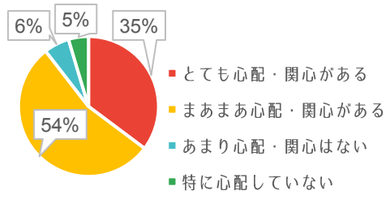
保護者へのアンケートでは、子ども達の登下校の交通安全状況についての関心・心配はかなり高くなっています。実に 90%もの保護者が子ども達の登下校に不安を持っているようです。

一方、実際にどれくらいの子ども達が、危険を感じる（ヒヤリハット）経験をしているかというと、全体の３分の１程度が「経験あり」と答えています。

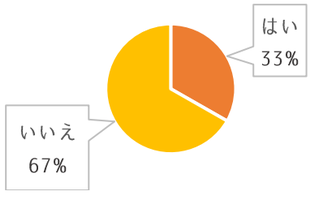
この数字をそのままとらえるなら、親が心配するほどには子ども達は危険に遭遇していないとも言えますが、３人に１人は事故が起きかねない状況を経験しているとも言えます。

さてこの割合、あなたは多いと感じましたか？それとも少ないと感じましたか？

お子さんの登下校の交通安全に関し、心配・関心はありますか？



ヒヤリハットの経験はある？



※「ヒヤリハット」とは…重大な災害や事故に直結する一歩手前の出来事のこと。
企業・官公庁でも、重大事故を未然に防ぐために分析・収集されています。

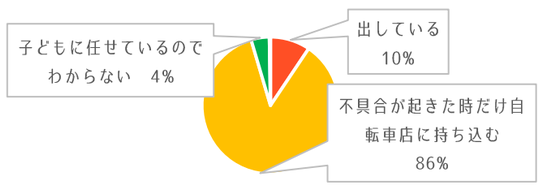
自転車の安全管理、お子さんに任せきりになっていませんか？

自転車の安全管理に関する調査では、神奈川県では義務化されている「自転車保険の加入」に関してはほぼ 100%の加入率となっていましたが、「定期的な自転車点検」に関しては、86%の家庭で「不具合が起きてから自転車店に持ち込む」と答えています。

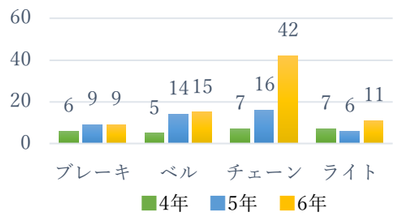
しかし、下の表でも明らかなように、高学年になるほど要点検箇所が増えています。その上、ブレーキやチェーンなど、直接重大事故にもつながりかねない箇所の不備も目立ってきています。

事故が起きてからでは遅いので、お子さんの自転車が安全に走行できる状態なのか、保護者も日頃から把握しておく必要がありそうです。

定期的な自転車点検に出していますか？



要点検箇所



PTA 自転車安全点検ご存知ですか？

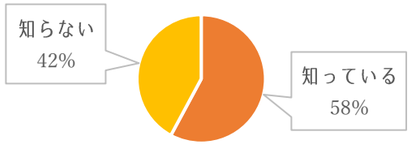
後期生自転車安全点検

昨年度は延期に次ぐ延期で中止になってしまった「後期生自転車安全点検」ですが、本年度は自転車商協同組合の自転車整備士の皆さんのご協力により、実施することができました。（広報紙「翠星」に詳細記事）

点検の結果は、「安全点検カード」で自転車ごとにお伝えしていますが、以下の通り、その認知度はもう一つと言ったところ。以下の結果から、カードを保護者が確認している割合は、４人に１人にも満たないことが分かります。

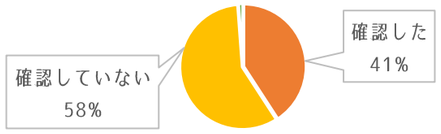
学校で行う安全点検の結果を、ご家庭でも共有し、安全な自転車運転に繋げて欲しいところです。

「後期生自転車安全点検」知っていますか？



このカードを確認してね！！

「安全点検カード」を確認しましたか？



平塚市は自転車事故ワースト地域だった！！

2021 年、2022 年上半期にわたり、平塚市の自転車事故件数は県内ワーストとなっていたことはご存知ですか？

平塚市は、平坦な地形で鉄道駅が一つしかない街のため、自転車利用率がとても高く、自転車事故も圧倒的に多い地域なのです。

こうした事故の発生は、朝方と夕方の通勤・通学時間帯に集中しており、特に事故の多い年代は、学生などの未成年者と高齢者とのこと。

生徒たちには、このような状況の下で自転車登校をしていることを自覚し、より一層の慎重な運転を心がけて欲しいものです。

登校時交通安全指導

本校 PTA では、年２回の登校時交通安全指導と年１回の自転車安全点検等を通して、生徒たちの安全向上への取り組みを行っています。

子ども達の命を守る活動です。今後とも、皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。